



まちなみ景観の形成プロジェクト

まちなみ景観の形成プロジェクト

1. 景観形成プロジェクトの目的

2. 和歌山市の現状把握

3. 方針の検討

4. 取組み提案

5. まとめ

プロジェクトチームメンバー

構成	所属	職名	氏名
総括者	都市計画部	部長	南方 節也
副総括者	都市再生課	課長	前 寿広
副総括者	政策調整課	課長	犬塚 康司
チーム員	政策調整課	企画員	堀口 大助
チーム員	観光課	主事	雑賀 洋平
チーム員	都市整備課	技師	杉本 拓磨
チーム員	都市再生課	班長	吉田 哲雄
チーム員	建築指導課	技術副主任	林 千晃
チーム員	道路政策課	技術副主任	辻 友規

1 景観形成プロジェクトの目的

◆良好な景観形成

屋外広告物などに対する規制はあるものの、周辺のまちなみ景観と調和していない看板や建物が、特にまちなみ景観において散見され、まちなみ景観を阻害しているため、良好な景観形成について検討する。

◆観光客に配慮したまちなみ景観



現在、わが国は、観光立国の実現に向けて、訪日外国人旅行者の増加を目的とした「ビジットジャパン事業」を推進しており、和歌山市においてもインバウンドが著しい。

このチャンスを捉え、リピーターを増加させるための『和』を感じさせる景観形成や人を呼び込む景観形成による魅力の創出について検討する。

2 和歌山市の現状把握（制度・施策）

◆ 制度・施策

【関係法令、計画等】

- 景観法、和歌山市景観条例
- 和歌山市景観計画
 - ◇ 和歌山城周辺景観重点地区
 - ◇ 和歌の浦景観重点地区
- 和歌山市景観ガイドライン
- 屋外広告物法、和歌山市屋外広告物条例
- 屋外広告物の手引き

【啓発事業】

まちあるき、ワークショップ、地域による活動
和歌山市景観ホームページ、違反広告物簡易除却 など

2 和歌山市の現状把握（調査）

◆現状の把握

阻害物件を把握するため、まちなかの現地調査を実施

○まちなみ景観を阻害している物件

- ✓ 派手な色彩の建物・屋外広告物
- ✓ 空きビル、空き家
- ✓ ゴミ、落書き
- ✓ 放置自転車
- ✓ 公共空間の不法占拠
- ✓ 電線、電柱 など

○観光地として景観上相応しくない

- ✓ 管理されていない植栽



2 和歌山市の現状把握（考察）

◆ 阻害物件は大きく分類すると2種類

I 市民や事業者などが景観を意識した取組を行うことで解決できるもの
散乱したゴミや違反屋外広告物など

II 行政が客観的な基準を示しコントロールしなければ解決できないもの
派手な色彩の建物や看板など

◆ 景観阻害要因を解消し、景観を良くするために

I

- ・ まちの美化意識の向上（定期的な清掃など）
- ・ 違反広告物を掲示しないという意識
- ・ 景観に配慮した広告物・建築物の設置

モラル

- ・ 静的景観、動的景観といった意識を持った取組
- ・ 地域住民、事業者などと連携して取り組める意識高揚

II

- ・ 既存法令に基づく対策強化
- ・ 色彩の基準など客観的な判断基準（条例改正）
- ・ 人を呼び込む景観形成の仕組み作り
- ・ 景観阻害要因の除去・改善

行政主導

3 方針の検討

◆テーマ

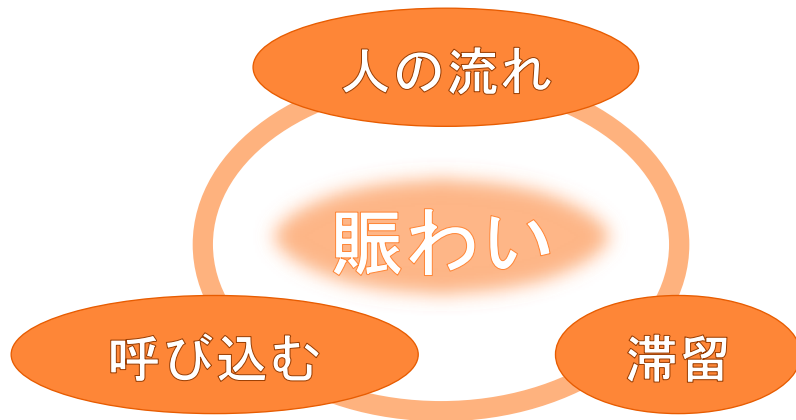
「創る景観」 （「守る景観」 → 「創る景観」）

◆サブテーマ

呼び込む

「人を呼び込む景観づくり」

魅力ある景観をつくることで、人を呼び込み、滞留させ、人の流れをつくり、まちに賑わいを持たせる。



おもてなし

「景観によるおもてなし」

『和』を感じさせる良好な景観を形成し、景観によって観光客をおもてなしすることで、訪日外国人旅行者も含め、リピーターを増加させ、まちに賑わいを持たせる。



3 方針の検討

◆景観形成の検討箇所の設定

和歌山市において増加する観光客を継続的なものとしていくため、観光客が、また訪れたいと思えるような景観づくりが必要である。

このことから、今回、検討すべき箇所を、観光客が目にする「観光地」及び「観光地へつながる道」と設定した。



3 方針の検討

◆景観形成の検討箇所



検討箇所

拠点	和歌山城
	JR和歌山駅
	南海和歌山市駅
	和歌の浦
	紀三井寺
	加太
通り	マリーナシティ
	けやき大通り
	宮街道
	三年坂通り
	中央通り

⇒道路のあり方として検討

既にリゾート地としてのイメージが形成されているため、検討から除外

3 方針の検討（箇所別景観の方針の設定）

和歌山城

お堀と天守閣を一体的に楽しむことができるような、お城を核とした景観づくりを行う。また、天守閣から見渡す景観にも配慮する。

呼び込む

おもてなし



JR和歌山駅前



和歌山市の玄関口として、おもてなしを重視するとともに、わかちか広場の再整備と合わせた一体的な有効活用を行い、人が滞在するような空間形成を行う。

呼び込む

おもてなし

3 方針の検討（箇所別景観の方針の設定）

南海和歌山市駅前

ターミナル駅としての歴史と品格を保ちつつ、市の新たなランドマーク・交流拠点となるような空間づくりを行う。

呼び込む

おもてなし



和歌の浦



古くから歌人に愛されてきた地域の歴史・文化を活かし、万葉、平安や江戸時代にタイムスリップしたかのような感覚を味わうことができるような景観づくりを行う。

呼び込む

おもてなし

3 方針の検討（箇所別景観の方針の設定）

紀三井寺

国道42号からもお寺とそこに続く参道の賑わいが感じられる、人を呼び込む景観づくりを行う。

呼び込む

おもてなし



加太



加太駅舎や、旧加太警察署庁舎など、風情ある建物や、漁業の営み景観などの地域資源を活用し、まちあるきを楽しめるような景観づくりを行う。

呼び込む

おもてなし

3 方針の検討（箇所別景観の方針の設定）

けやき大通り

JR和歌山駅と和歌山城をつなぐメインストリートであるため、お城へ人を誘導するような、お城が感じられる景観づくりを行う。

おもてなし



主要道路

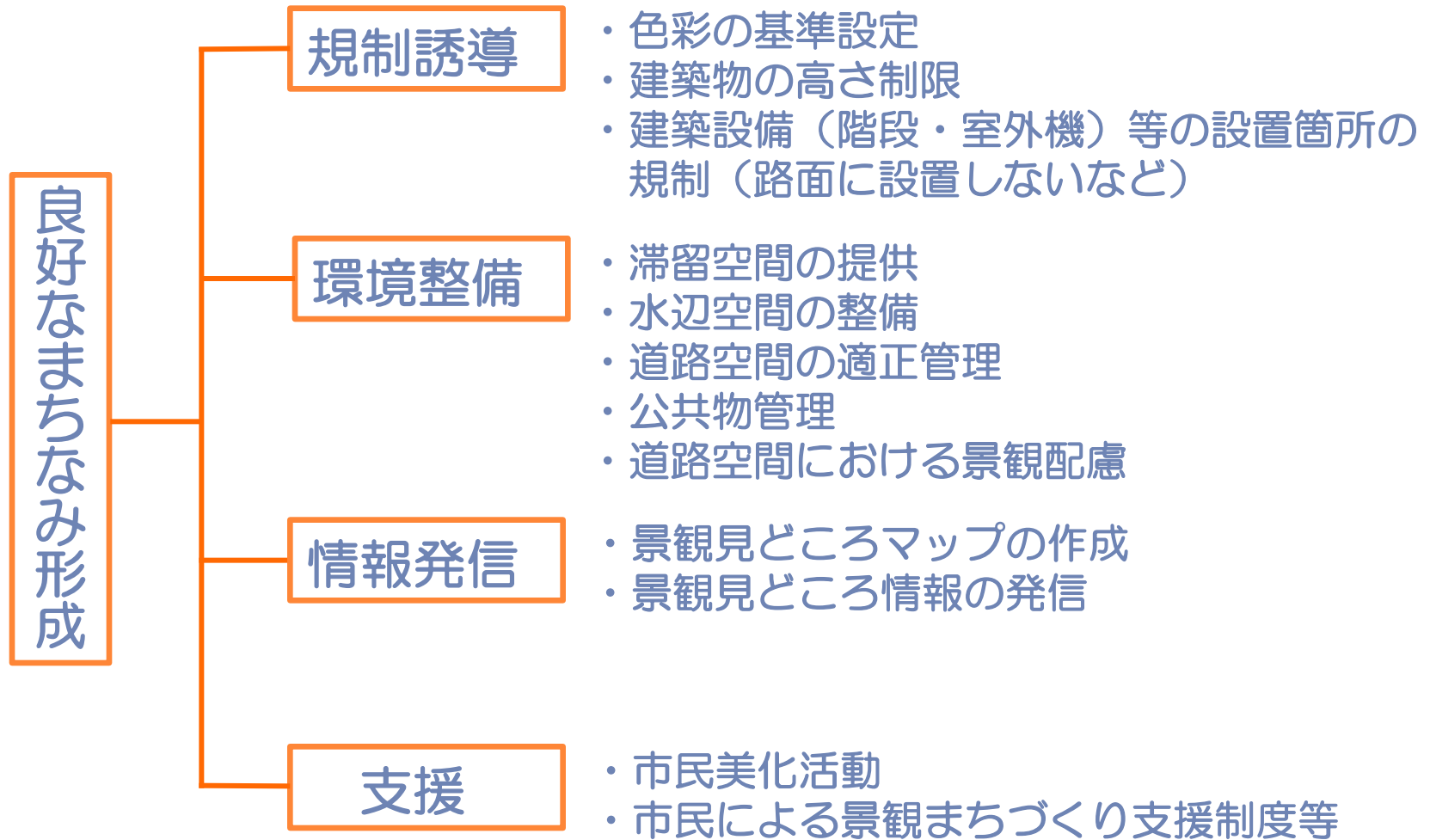


来訪者を迎える場所であるため、植栽やベンチの設置など、おもてなしに配慮した空間形成を行う。

おもてなし

4 取組み提案

◆取組み手法



4 取組み提案（現状施策）

◆景観計画

景観計画の見直し

守る景観

現状:【平成23年 景観計画】
良好な景観の保全・創造・継承を目指す

創る景観

目的:人を呼び込む景観形成を目指す

【検討項目】

- 新たな景観拠点の創出や仕組みづくりの検討
- 景観形成基準の見直し（色彩・数値基準の設置）
- 屋外広告物との連携

◆屋外広告物

(現状)

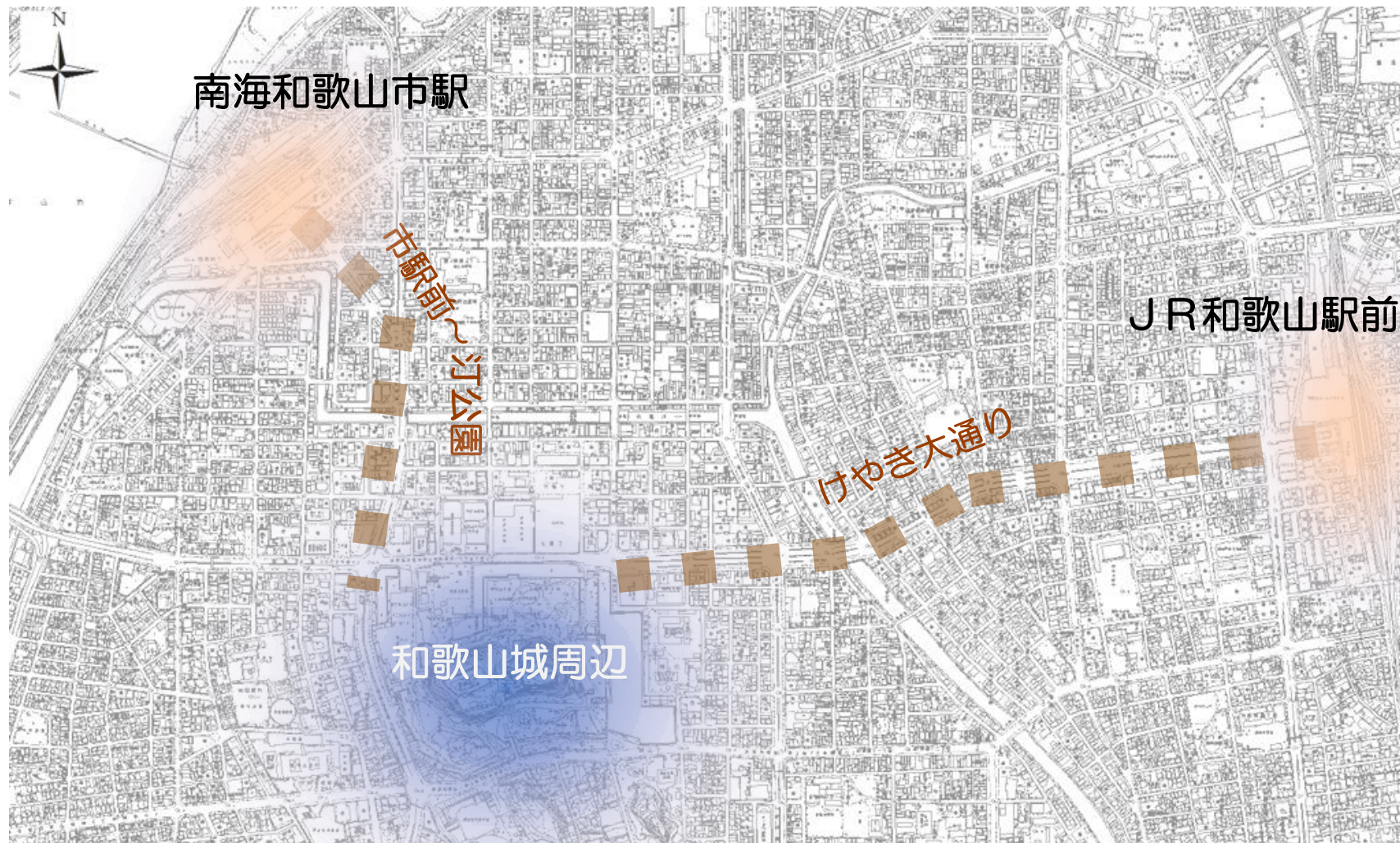
- ・非常に多くの違反広告物・未申請物件
- ・詳しい実態を把握できていない
- ・十分な指導ができていない

【施策】

- 屋外広告物の実態調査
- 違反広告物に対して是正指導
- 市民、広告主への周知活動

4 取組み提案(モデルケース)

◆ JR和歌山駅～和歌山城～南海和歌山市駅



4 取組み提案(モデルケース)

JR和歌山駅

- ・和歌山市の玄関口としての景観
- ・おもてなしの景観



規制誘導の強化

- ・屋外広告物（看板）の規制（大きさ・色彩）
- ・ポイ捨て防止条例の改正による美観の保持

おもてなしの向上

- ・「わかちか広場」を再整備し、地場産品のアンテナショップとビジターセンター、ワゴンカフェを設置



滞留拠点の設置

- ・「わかちか広場」と連携して、出店のような小規模店舗（和歌山名産品等）、イベント時等飲食ができるスペース、お城を意識したテント、和を感じさせる縁台、椅子、机などの設置

4 取組み提案(モデルケース)

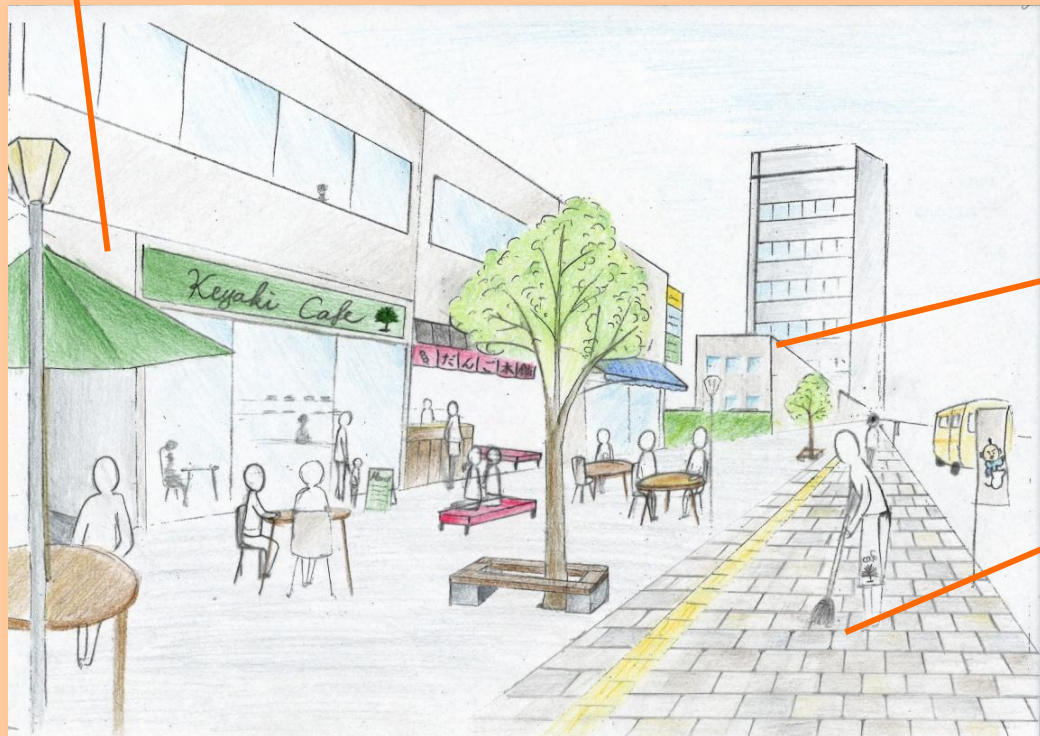
けやき大通り

・お城に近づくにつれて和歌山城が感じられる景観づくり

一体的な景観づくり

- ・歩道をお城を感じさせる石畳に変更
- ・街灯を和風に変更、光の明るさや色の濃淡により動きを作る
- ・瓦屋根など和を感じさせる装飾
- ・お城へ続く物語性（吉宗君のパラパラ漫画）のあるのぼり旗

- ・商店街の空き店舗、空家を利用した食べ歩き、屋台イベントの実施
- ・人の目にとまりやすい1階部分に店舗等を配置し、賑わいを創出
- ・イルミネーション、ライトアップによる賑わいの創出
- ・ベンチを設置
- ・駐車場のフェンス等を緑化し、居心地の良い空間の演出



規制誘導の強化

- ・景観計画による規制（色彩）
- ・屋外広告物（看板）の規制（大きさ・色彩）

道路空間の適正管理

- ・ベンチ等適正な管理
- ・地元商店街、店舗と連携し、管理できる仕組みづくり

4 取組み提案(モデルケース)

南海和歌山市駅

- ・市の新たなランドマーク・交流拠点となる空間づくり
- ・和歌山市らしい外観
- ・景観アドバイザー制度の活用

新図書館

知・情報・交流・くつろぎ拠点
資料の充実、課題解決の支援、郷土の歴史・文化の継承、人とのつながりを育む

まちの市場

- ・和歌山の特産物を売りとした飲食店や物品販売

利便性を高める

- ・駐車場
- ・駐輪場

まちの広場

- ・紀州材を豊かに使った空間
- ・和歌山の風景を楽しむ屋上庭園や展望スペース

まちの社交場

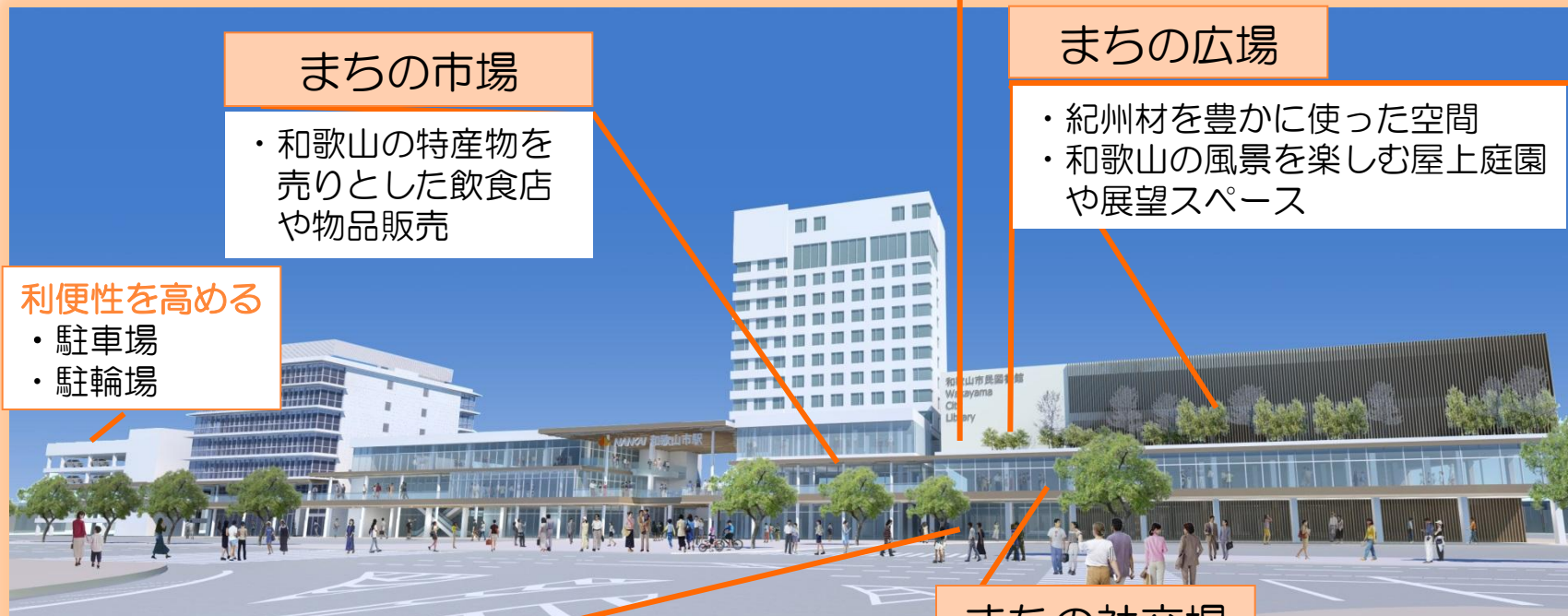
- ・市民交流、地域の憩いの場となるスペース、公共的施設

市駅前通り再整備

- ・市駅前の骨格となる新たな街路づくりの検討

おもてなし向上

- ・観光案内所
- ・レンタサイクル設置



4 取り組み提案(モデルケース)

南海和歌山市駅前の通り

- ・市駅の再整備に合わせた周辺との調和



道路空間の適正管理

- ・中央分離帯、歩道の植栽の充実、管理
- ・地元の人々の協力、ワークショップの開催支援

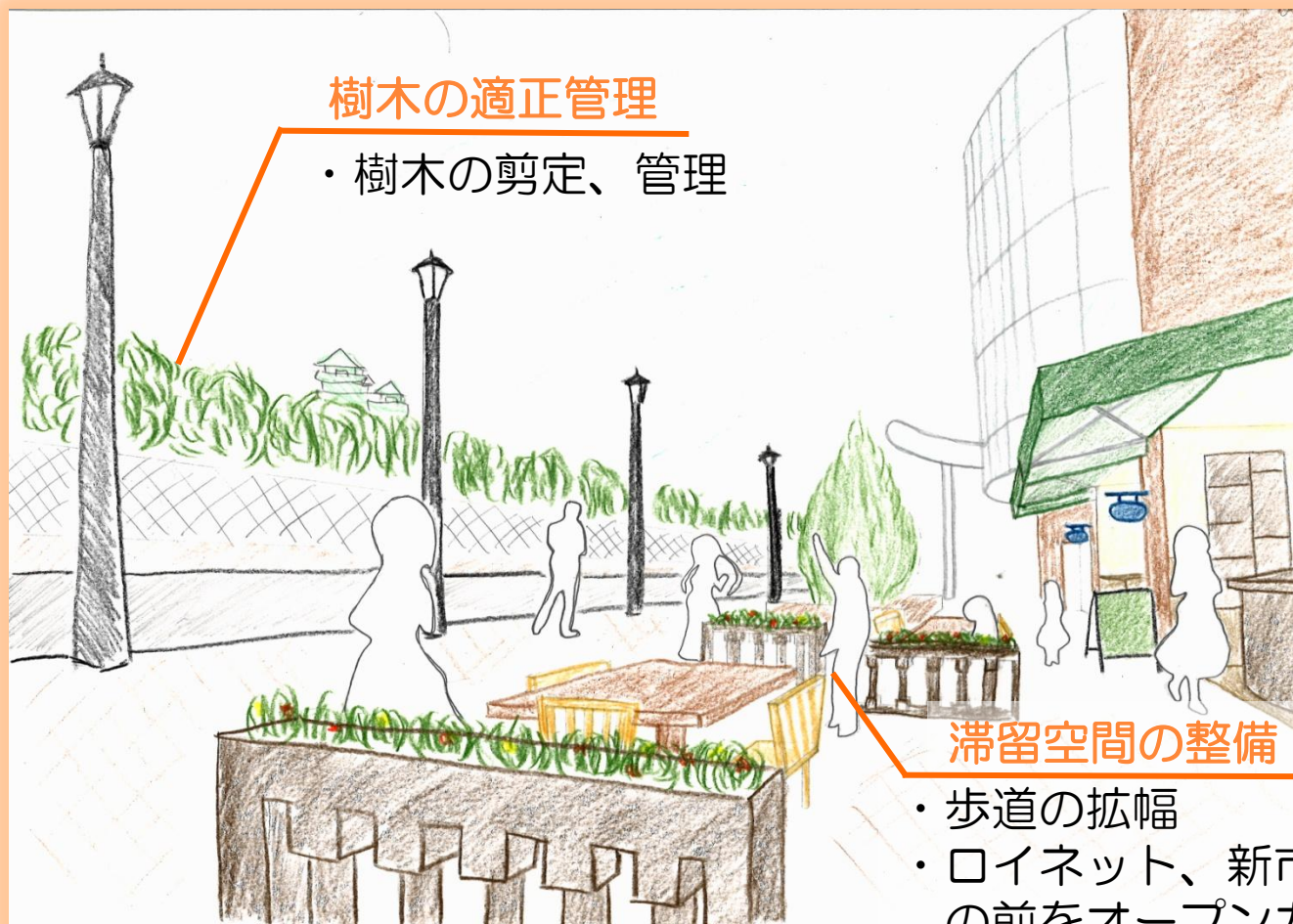
市駅再整備と調和した道路整備

- ・地元商店街や大学との連携による賑わい空間創出
- ・アーケードの撤去、歩行者に配慮した歩道整備等賑わい空間への導線確保

4 取り組み提案(モデルケース)

和歌山城周辺エリア

- ・ お堀と天守閣を一体的に楽しむことができる
お城を核とした景観整備



4 取組み提案(モデルケース)

和歌山城周辺エリア



4 取り組み提案(モデルケース)

和歌の浦

- ・ 歴史・文化を活かした景観づくり
 - 歴史的資源を活かした周遊ルートの整備
 - 拠点の整備
 - 地元住民との連携によるまちなみ形成



紀三井寺

- ・ 国道42号からも参道の雰囲気を感じられる景観づくり
 - 賑わいのある通りの延長
 - 市民との連携による景観拠点の創出



加太

- ・ 歴史、文化、食など豊富な地域資源を活用した景観づくり
 - まちあるきが楽しめる、賑わいのある景観形成



主要道路

- ・ 来訪者のおもてなしに配慮した空間づくり
 - 適正な維持管理（舗装修繕、剪定）
 - 地元住民との連携（管理方法や方針を）

5 まとめ

◆目的

- 良好な景観形成
- 観光客に配慮したまちなみ形成

◆テーマ：「創る景観」

①人を呼込む景観づくり

人を呼び込み、滞留させ、人の流れをつくり、まちに賑わいを持たせる。

②景観によるおもてなし

景観によりおもてなしすることで、リピーターを増加させ、まちに賑わいを持たせる。



◆取組み提案

規制誘導

- ・景観形成基準の見直し（色彩等）
- ・違反広告物の是正指導

情報発信

- ・景観見どころマップの作成
- ・景観みどころ情報の発信

環境整備

- ・滞留空間の提供
- ・水辺空間の整備
- ・道路空間の適正管理

支援

- ・市民美化活動
- ・市民による景観まちづくりの支援制度等

◆平成28年度関連事業

- ・景観計画の見直し
- ・屋外広告物の規制強化
- ・まちなか水辺空間等を活用したイルミネーション
- ・和歌山城ビュースポットの保全
- ・ポイ捨て防止条例の改正による美観の保持

今後について

南海和歌山市駅前の通り

市駅の再整備に
合わせた空間づくり

- ・商店街や大学と連携した賑わいづくり
- ・道路空間の適正管理

和歌山城周辺

お城を核とした
景観づくり

- ・滞留空間の整備
- ・汀公園の活用
- ・水辺空間の活用

JR和歌山駅前

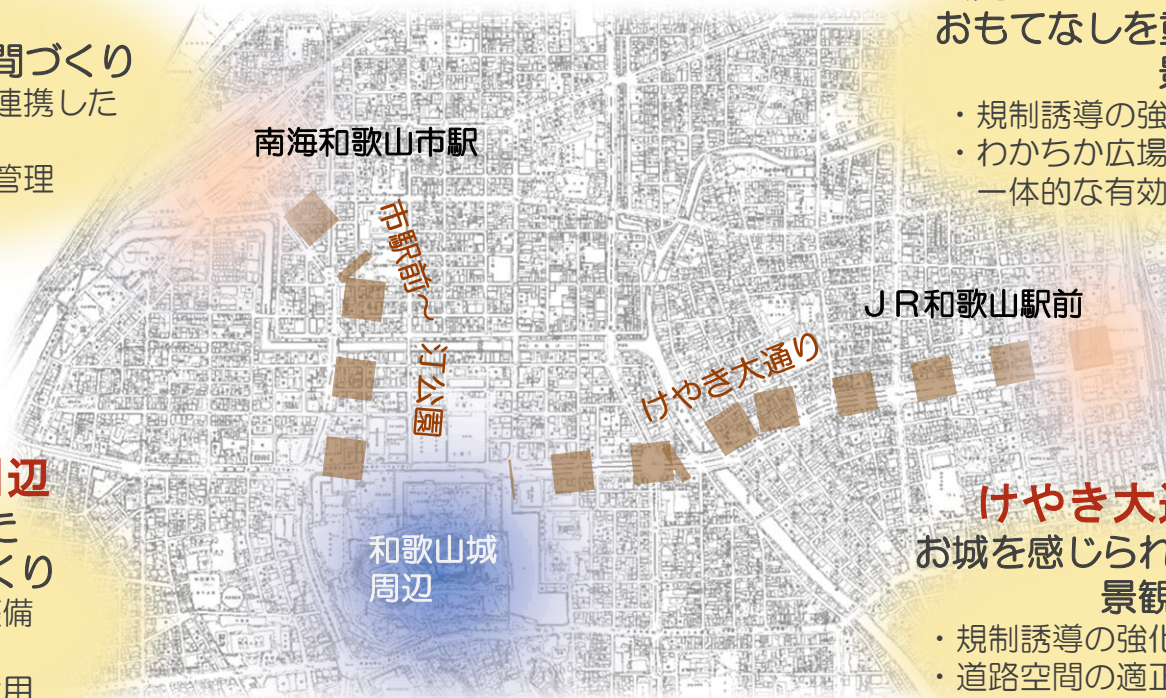
玄関口として相応しい、
おもてなしを重視した
景観づくり

- ・規制誘導の強化
- ・わかちか広場と合わせた
一体的な有効活用

けやき大通り

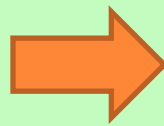
お城を感じられる
景観づくり

- ・規制誘導の強化
- ・道路空間の適正管理
- ・お城と一体的な景観づくり



◆今後の取組み

城下町をイメージした
景観まちづくり



JR和歌山駅～けやき大通り～和歌山城
周辺～南海和歌山市駅前通りについて、
平成28年度プロジェクトチームを立上
げ、検討